

放課後児童健全育成事業事故報告書

【記入例】

（あて先）

川崎市長

平成〇〇年〇月〇日 / 第1報

事業所名称	△△学童クラブ (事業所番号: 14××××××)				
記入者	職種	施設長	名前	幸花子	
事故発生日時・場所	日時		場所		
	平成〇〇年〇月〇日15時3分頃		△△学童クラブ クラブ室		
事故にあった者	ふりがな	わたりだ つばき		□□	小学校 1 年生
	氏名	渡田 つばき		利用開始日	××年×月×日
事故発生時のクラブの体制	参加児童数	職員数 (総数)		支援員	補助員
	48 名	5 名		2 名	3 名
児童の症状等	負傷箇所		負傷内容		
	右頬内部		口内裂傷		
事故に至る経過及び発生後の処置 ※ 当日、来所時からの健康状況、発生時の処置、当該児童の保護者への連絡を含め、可能な限り詳細に記入	日時	内容			
	○日 15:03	クラブ室内で当児童が転倒。児童が痛みを訴え口から少量出血。転倒の衝撃で右頬内部を負傷と見えたので、頬冷やす。			
	○日 15:05	保護者（母）に連絡。受診の希望を尋ねると近所の〇〇歯科（口腔外科）がよいとのこと。△△指導員が連れていく。			
	○日 15:40	〇〇歯科に電話の上、受診。頬内部を切っているが、縫う必要はなく痕も残らない、歯に影響無しと。保護者に報告。			
○日 18:00	都内の職場から母親到着。けがをした時の状況と受診結果を報告。児童は元気だが、翌日の利用は様子を見て決める。				
医療機関での処置	医療機関名称	〇〇歯科	処置	口内内の洗浄と消毒	
保護者会や外部機関への連絡・説明	※備考における2、3の場合のような重大な事故や怪我等については、保護者会への情報提供や注意喚起を行ってください。				
事故発生の要因や今後の防止策等	※備考における2、3の場合のような重大な事故や怪我等については、事故発生の要因と今後の防止策を必ず御記入ください。				

【備考】

- 活動中に通院が必要となる事故が発生した場合には、事故発生後速やかに提出してください。
- 重大な事故、事件等(※)が発生した場合には、本報告書によらず速やかに連絡してください。
※ 生命に係わる重篤な怪我、児童の行方不明、不審者情報、個人情報の紛失、交通事故、緊急災害等
- 死亡事故、治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故は、本報告書によらず速やかに連絡し、第1報を事故発生当日、第2報は原則1か月以内程度に行ってください。
また、状況の変化等を必要に応じて追加報告してください。
- 各欄は適宜広げて記載してください。